

最上エコポリス通信

— mogami ecopolis tsushin —

2019年12月号 山形県最上総合支庁



若者の声を地域創生に活かす

若者の豊かな発想や行動力を地域づくりに活かしていくため、知事が市町村に赴き、若者と車座になって対話を行う「知事と若者の地域創生ミーティング」が、大蔵村と戸沢村で開催されました。

大蔵村 11月6日 at 赤松生涯学習センターまつぼっくり

《主な意見》

- ・屋内観光施設として、観光酒蔵を整備できたらと考えている
- ・国道458号の寒河江一肘折間が通常通行となれば、経路地として立ち寄ってもらえるのではないかと
- ・若者に農業を始めてもらうためには、仲間づくりが大切
- ・子どもが高校生くらいになり、進路を考え始めた時、「農業って面白そう」と思ってもらいたい
- ・大蔵村の「いいところ」をSNSを使ってどんどん発信すべき
- ・増加する空き家を、高齢者の憩いの場や観光施設にできないか

知事より

大蔵村は歴史も古く、いいところをまだまだ発見できるはず。様々な分野の若い人が集まって話す機会をぜひ今後も持ち続けてほしい。



鈴木翔大さん、小屋圭一郎さん、石川竜美さん、高橋竜也さん、國分武さん、伊藤貴之さん、斉藤緑さん、早坂絵梨奈さん、笹原彩葉さん、佐藤溪人さん ※後列左→右、前列左→右の順

戸沢村 11月13日 at 戸沢村役場

《主な意見》

- ・高麗館の異国情緒あふれる外観を活かし、コスプレイヤーを呼んで村を盛り上げたい
- ・村の会社員の多くは村外に勤めているので、戸沢で働いてもらえるよう、子どもに地元企業を知ってもらいたい
- ・大人が地域で楽しんでいる姿を子どもに見せ、子どもに「地元で生活するのが面白そう」と思ってもらいたい
- ・若者の流出防止や移住増加は、保育制度の充実がカギになる
- ・若者が働きたいと思えるよう、雇用の仕組みを作りたい

知事より

人口減少は戸沢村以外でも大きな問題となっている。一人ひとりが自分から動き、それぞれの地域でできることを考え、実践してほしい。

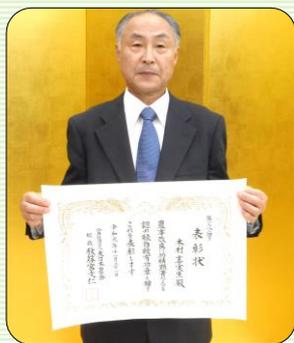


齋藤辰弥さん、甲州泰規さん、荒川真さん、古川恵一さん、高橋潤さん、横山一成さん、長澤絵美さん、早坂美香さん、矢口扶佐子さん、土田文子さん ※後列左→右、前列左→右の順

[総務課 29-1360]

受賞おめでとうございます！

大日本農会農事功績者表彰
緑白綬有功章



木村 喜実生 氏
(最上町)

(農林水産祭天皇杯等三賞)
日本農林漁業振興会会長賞



(株)アイオイ
代表取締役 五十嵐忠一 氏



最上農業賞

若手ねぎ研究会
会長 島腹貴宏 氏
(株)ヒマワリ企画
代表取締役
高橋秀則 氏



建設統計関係者の
国土交通大臣表彰
(感謝状)

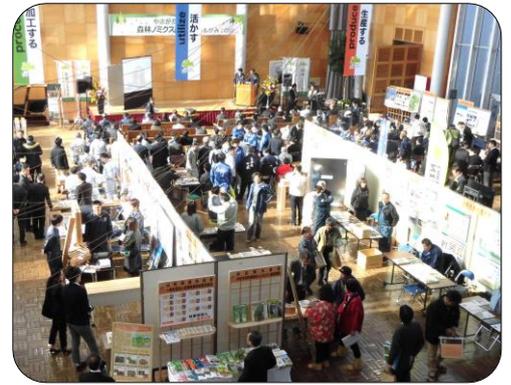
沼田建設 (株)

※次号も引き続き紹介します。

やまがた森林ノミクスの取組みを全国へ発信!

11月24日から26日までの3日間、金山町及び新庄市を会場に「やまがた森林ノミクス産業展 in もがみ」が初めて開催されました。

全国から林業機械、製材・加工、住宅建築、家具、木質バイオマスなど最新技術を有する企業や団体が出展し、各社の取組みの紹介や異業種間の交流を図るとともに、林業・木材産業を支える人材育成と、木材の高付加価値化を推進するため、行政や研究者、木造建築家や住宅・中高層の木造建築会社などのトークセッション、セミナーなど多彩な催しが行われました。



行政関係者や林業関係団体、民間企業などが来場し、木材利用に関する積極的な情報交換や、地域材の新たな活用方法などについて提案が行われました。

この産業展を契機として最上地域はもとより、県内の木材利用の新たな事業展開につなげてまいります。

[森林整備課 29-1349]

最上地域の施策展開を審議

11月15日、最上総合支庁において、令和元年度第2回最上地域議員協議会が開催され、地域選出の4名の県議会議員の出席のもと、最上地域における施策の展開等について審議が行われました。

審議に先立ち、須藤最上総合支庁長から、台風19号による被害状況、昨年の豪雨災害の復旧状況、農作物の作柄・販売状況、雇用情勢、農産物の魅力アップ等に向けた取組み、やまがた森林ノミクスの推進状況、高速道路網整備を活かす「道の駅」整備の検討状況について説明が行われました。

その後、各委員から質疑がなされ、若者定着や園芸振興、地域医療対策など、各分野にわたって活発な意見交換が行われました。

【質疑の主な内容】

- ◇「新庄・最上ジモト大学」の取組みについて
- ◇障がいのある児童や乳幼児に対する支援体制について
- ◇地域の主要園芸作物のさらなる生産拡大と担い手確保について
- ◇管内市町村や医療機関等と連携した糖尿病対策について

[総務課 29-1210]



高速道十字連携軸の整備促進に向けて

11月26日、新庄市民文化会館大ホールにて第18回「最上を拓く高規格道路」建設促進合同大会を開催し約600名が参加しました。

基調講演、地域で活躍する3名の方による意見発表に続き、大会決議を満場一致で採択しました。

今後も、最上地域における広域交流・連携に不可欠な高規格道路網の整備促進に向け、地域の盛り上げを支援してまいります。



- ◆基調講演
(一財)日本みち研究所
川瀧 弘之 氏
- ◆意見発表
 - (株)新庄丸果青果
梁瀬 悦子 氏
 - (有)大沼産業 大沼 寿彦 氏
 - (株)アイオイ 五十嵐 忠一 氏

[建設総務課 29-1391]

油流出事故に注意!!

冬は、油の流出事故が起きやすい季節です。油の流出は、河川や地下水などの水環境に悪い影響を及ぼします。さらに、流出対策に要する費用は、全て原因者の負担になります。ホームタンクの点検を定期的に行い、灯油を移し替える時はその場を離れないなど、灯油を外へ漏らさないようにしましょう。

**油臭・油膜を発見した場合は、
消防署又は警察署、市町村、
総合支庁へ連絡
してください!**



[環境課 29-1286]

11月22日、「第2回MOGAMIルーキーズカレッジ」を開催し、地元事業所の若手社員30名が参加しました。今回も和気あいあいとした雰囲気の中、コミュニケーションスキルを学んだほか、自分の「強み」を知るとともにお互いの強みの活かし方について考えるグループワークや、モチベーションを高めて働くために自分のやるべきこと・やれること・やりたいことを考えるワークなどを行いました。

入社から半年以上が経ち、仕事に対する悩みや葛藤が出始める時期でもありますが、社会人になってからの自分の変化や成長を振り返り、仲間どうして共有したことで、皆さんモチベーションアップにつながったようです。

また、同日午前には、企業の経営者の方などを対象に「最上地域産業人材育成セミナー」も開催し、若手社員の育成などについて意見交換を行いました。

次回のMOGAMIルーキーズカレッジは、来年2月20日(木)に開催予定です!

[地域産業経済課 29-1309]



「道の駅」の楽しみ方を 研究員と一緒に考えよう!

11月2日
@ゆめりあ



今回は『最上地域にどんな「道の駅」を作ればいいのか』をテーマに、高校生が最上地域政策研究所の研究員と交流しながら地域の魅力を知るとともにアイデアを生み出す力を養うため、県が実施したジモト大学のプログラムです。以下のようなアイデアが発表されました!

- ・道の駅フェス(四季折々に開催)
- ・わんことりもつラーメン(大会)
- ・雪のライトアップ道の駅 ・金山杉で造った温泉
- ・鮎釣り掘り
- ・山車づくり体験



[連携支援室
29-1238]

目指せ!医療の仕事!

地域の医療・介護分野の人材確保を図るために、11月19日に鮭川村立鮭川小学校で、6年生28人を対象に医療・介護職に関する学習会を開催しました。



看護体験

看護師と介護福祉士の方を講師に迎え、仕事の内容ややりがいを聞き、体験学習をしました。普段の授業とは違う体験に、児童の皆さんは楽しみながら学び、将来の職業に対する視野を広げることができました。



介護体験

[保健企画課 29-1257]

高校生の進路選択 ~親が子どもにできること~

シリーズ
若者定着・人材確保に向けた取組み

11月5日、新庄南高等学校において、1年生の保護者を対象に進路セミナーを開催し、約40名の方に参加いただきました。

山形大学学術研究院の松坂暢浩准教授から、進路を考えるうえで必要な視点や子どもへの接し方などについてわかりやすく解説いただくとともに、現在、地元事業所で働いている卒業生のお二人をゲストに迎え、学生当時のエピソードや今の仕事に対する想いなどをお話いただきました。

保護者の方の地元事業所への理解を深めることにもつながったようです。



[地域産業経済課 29-1309]

お知らせ 山形新幹線新庄延伸20周年 最上地域 温泉旅館・ホテル宿泊キャンペーン

最上管内の温泉旅館・ホテルに宿泊した旅行者に、温泉宿泊券やホテルで使えるお食事券等を抽選でプレゼント!

🌊 キャンペーン期間

令和元年12月16日(月)

~令和2年2月29日(土)(予定)

🌊 対象旅館・ホテル

最上地域観光協議会の会員である温泉組合に加盟する温泉旅館・ホテル

■20周年を記念し、最上の「おもてなし」を担当する観光関係者等が集まってポスターを作成しています!多くの観光客に最上地域を訪れていただけるよう、このポスターを活用してまいります。

[観光振興室 29-1311]



共にいきいきと輝くことができる社会へ

11月23日、ニューグランドホテル新庄で、「Mogami With Festival」(モガミ ウィズ フェスティバル)を開催しました。男女が共にいきいきと輝くことができる社会づくりに向け、女性の社会参画と男性の家事参画の推進を目的に開催したものです。



第1部として、「エプロン男子フォトコンテストin最上」の表彰式を行いました。受賞者(6名うち4名出席)の方からは、これからも率先して料理をし、男性が家事をすることを会社や地域で広めていきたいなどの感想がありました。第2部では、フリーアナウンサーの門田厚子さんをコーディネーターに、最上地域で仕事や活動で輝いている3組の夫婦からお話をお聞きしました。互いに良き理解者となっている様子があり、多くの皆さんに大いに参考にしていただける内容でした。

[子ども家庭支援課 29-1245]



超簡単絶品トマト缶
ツナ缶パスタ

みんなで健康寿命を考えよう

地域の方に広く健康づくりに関心を持っていただくため、11月21日、新庄市民プラザで「最上の地域医療を考える住民のつどい」(今年で6回目)が開催され、地域住民など約300名が参加しました。

今回は、県立新庄病院の針生光博先生から「健康寿命とロコモティブシンドロームについて」と題した講演が行われ、「ロコモティブシンドローム(足腰などの衰えにより立ったり歩いたりする機能が低下)予防には、運動習慣とバランスのとれた食事が重要」といった話をいただきました。また、最上町十日町地区会の方から、地域の健康づくりの取り組みとして、百歳体操の実践について紹介がありました。

[保健企画課 29-1257]



コミュニケーションの大切さを学ぶ

11月23日、新庄東高校を会場に、「生徒と地域の大人の対話会」が、同校の「みつばちフォーラム」として開催され、高校生13名、地域の大人25名が参加しました。生徒と大人が共にいじめ防止策を考え、学校と地域の連携を図るものです。

「より分かり合えるコミュニケーションとは」というテーマのもと、コミュニケーションや対人関係で気を付けていること・心がけていることについて考えました。グループ討議では、相手を意識した話し方聞き方、話しやすい雰囲気づくりの大切さ等について活発に意見が交わされました。

[子ども家庭支援課 29-1221]



ご来場ありがとうございました!

11月2日、最上産地研究室の研究内容を紹介する参観デーを農林大学校の農大祭と同時開催し、400名を超える方々からご来場いただきました。

研究成果の紹介のほか、さといもの掘り上げ株などの展示やラズベリージャムなどの試食も好評で、多くの方から関心を持っていただきました。

今後とも研究成果を分かりやすく紹介し、試験研究がより身近に感じられるよう取り組んでまいります。

[産地研究室 22-2201]



おいしく残さず食べ切ろう!

まだ食べられるのに捨てられてしまう食べ物、この食品ロスは年間600万トン以上発生しており、これを1人1日当たりにするとお茶碗約1杯分に相当します。特に宴会での食べ残しが多く発生しているため、忘新年会が増える12月・1月に、宴会時の食べ残し削減に向けた「おいしい食べきり」全国共同キャンペーンを実施しています。

「おいしく残さず食べきろう!」を合言葉に、宴会では「30・10(さんまるいちまる)運動」を実践しましょう!

[環境課 29-1287]

さんまる イチまる

30 10運動

乾杯後30分やお開き前10分は、自分の席でお料理を楽しみましょう!

- 幹事さんは「おいしく食べきろう!」の声をかけましょう
- 多い料理は皆でシェアしましょう
- 1人ひとりが「もったいない」を心がけ、楽しく宴会を楽しみましょう!

発行日: 令和元年12月1日

発行元: 山形県最上総合支庁総務企画部総務課

総合案内窓口

電話: 0233-29-1360 FAX: 0233-23-2605



Twitter



HD

山形新幹線新庄延伸が実現したのは、平成11年12月4日。活気づく最上地域をますます盛り上げていくために、ほくも生まれたんだよ☆これからは最上の良いところをたくさん発信していくぞ~!

